

神奈川県議会議員(茅ヶ崎市選出)



# くさか景子の

No. 62  
県議会報告  
2012. 7

ちよっ

と よろしいですか!

と



## 神奈川県臨調一県緊急財政対策本部調査会一提言 県有施設「3年間で原則全廃」

県財政が逼迫し、来年度は700億円の財源不足が見込まれる中、再建に向け提言する調査会の意見(以下4項目)がまとまりました。

### 1) 県有施設等

- ・3年以内に原則全廃、廃止以外にも財政負担を軽くする方法の検討
- ・県民利用施設 107 出先 132 社会福祉施設 15 県営住宅など

### 2) 補助金・負担金

- ・一時凍結し、全て見直し、新たな補助制度創設
- ・市町村補助金 385 億円 119 事業 負担金等 736 億円 333 事業

### 3) 教育のあり方

- ・別途教育の専門家で調査会を立ち上げ議論→教育臨調をつくる
- ・公教育の役割や教員定数、私学助成金の意義などを協議

### 4) 人件費の抑制

- ・大幅な削減、出先機関の見直し



黒岩 祐治 神奈川県知事

6月定例県議会では、各会派の代表質問で、取り上げられ、知事は、調査会の意見は大胆で究極の結論と評価しながらまだ決まったわけではないと答弁しました。しかし、その後すぐ、廃止の方向もあると、県民センターの空調整備の入札を突然停止し、予算9億円を執行しなかったとして、議会では問題視されています。

各部署では、県関係施設や補助金の洗い出しを開始し、事務事業評価と照らし合わせて仕分けを始めています。しかし、来年度の予算に反映するためには秋には結論づけが必要であり、国の仕分けで問題になったように、早急に廃止や処分、譲渡、委託などの結論を出すのは調整が難しいと考えます。

さらにこれから「中間まとめ」の答申が出される予定ですが、県財政の再建に向けては大胆な改革が必要とも言え、県民からも期待が高まっています。



## おひとりさまの老後

### COCO 湘南台の高齢者グループリビングの取り組み 人生仕上げの時期をどのように生きるか。

「自立と共生」を合言葉に、子どもに頼らず、誰にも干渉されず、強制されず、開かれた地域で気の合う高年男女で暮らす、これがグループリビング COCO 湘南台です。

藤沢市議会議員を6期24年務めた西條節子さんが提唱し、現在10人(平均80歳)と一緒に暮らしています。西條さんは、独身で83歳、高校教諭から市議に転身。長年福祉の活動をされ、多数著書もあります。西條さんは、お昼すぎに起床し、ゆっくり新聞を読み、講演や活動、趣味などをして気ままに過ごされています。ここは住宅街の真ん中、普通の家と同じように暮らし、夜6時の夕食に10人が集まり、助けあいながら暮らしているそうです。



西條さんと居間で

地域の医療機関・施設、ワーカーズコレクティブ(食事づくりと掃除)をネットワークし、良質な「医・食・住」を獲得し、運営はNPO法人「COCO 湘南」が担っています。

「住み慣れたまちで、家で終わりたい」という本人の意思を尊重した看取りを、この14年間で4人送ったそうです。

理想的な暮らし方グループリビングは湘南台、藤沢市の長後、海老名市と3か所あり、それぞれ10人ずつで暮らしています。因みに男性は1人、残念ながら男性はグループでは暮らしにくいそうです。いつでも見学できます。興味のある方はお申し出ください。

## くさか景子のほっとコラム

### 7月2日から辻堂にパスポートセンターできる！

茅ヶ崎市・藤沢市・寒川町2市1町で、県から移管され、テラスモール湘南斜め前の「アイクロス湘南」に開設されます。今まで申請交付に横浜まで出向いていたのが、便利に取得できます。しかし、申請が月曜～金曜 9時～16時45分まで、交付はそれに日曜が加わりますが、問題は仕事のある人の申請が16時45分まででは不便です。週一日でも7時までか9時に延長できないか、要望も多いので、藤沢市に強く申し入れしています。



新しく出来た湘南パスポートセンター内